

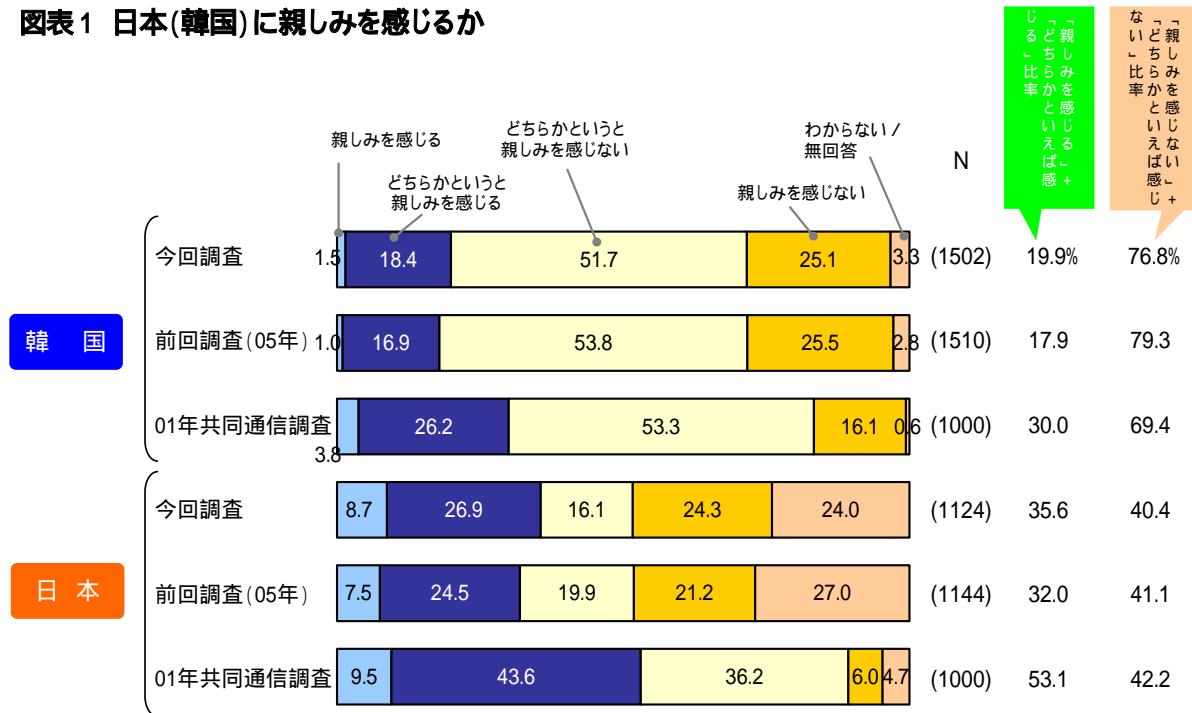
# 「日韓関係についての国際比較世論調査」の結果（詳細版）

## 第1章 日韓関係について

韓国では「日本に親しみを感じない」は8割、「親しみを感じる」は僅かに2割

- 韓国において、日本に親しみを感じる比率（「親しみを感じる」+「どちらかといえば感じる」）は20%、日本に親しみを感じない比率（「親しみを感じない」+「どちらかといえば感じる」）は77%であり、前回調査（05年）と比べその差はやや縮小したが、依然として日本に親しみを感じない比率が大きく上回っている。年代別にみると、日本に親しみを感じる比率は20代では3割、30～50代では2割弱、60代以上では1割で、前回調査同様に、年齢層が高くなるほど低くなっている。（図表1、2）
- 一方、日本において、韓国に親しみを感じる比率は36%、親しみを感じない比率は40%であり、前回調査と比べその差はやや縮小したが、依然として韓国に親しみを感じない比率が上回っている。（図表1）
- 2002年以降、小泉首相の靖国神社への公式参拝などが影響し、対日（対韓）感情は悪化を続けてきたが、昨年10月の安倍首相の訪韓による首脳会談開催の影響もあってか、今回調査では対日（対韓）感情はやや好転の兆しが見える。（図表1）

図表1 日本(韓国)に親しみを感じるか



注1) 共同通信社01年調査:01年11月実施。韓国、日本共に、調査対象は全国の20歳以上の男女個人を無作為抽出し、電話調査を実施。有効回答者数は各国とも1000人。

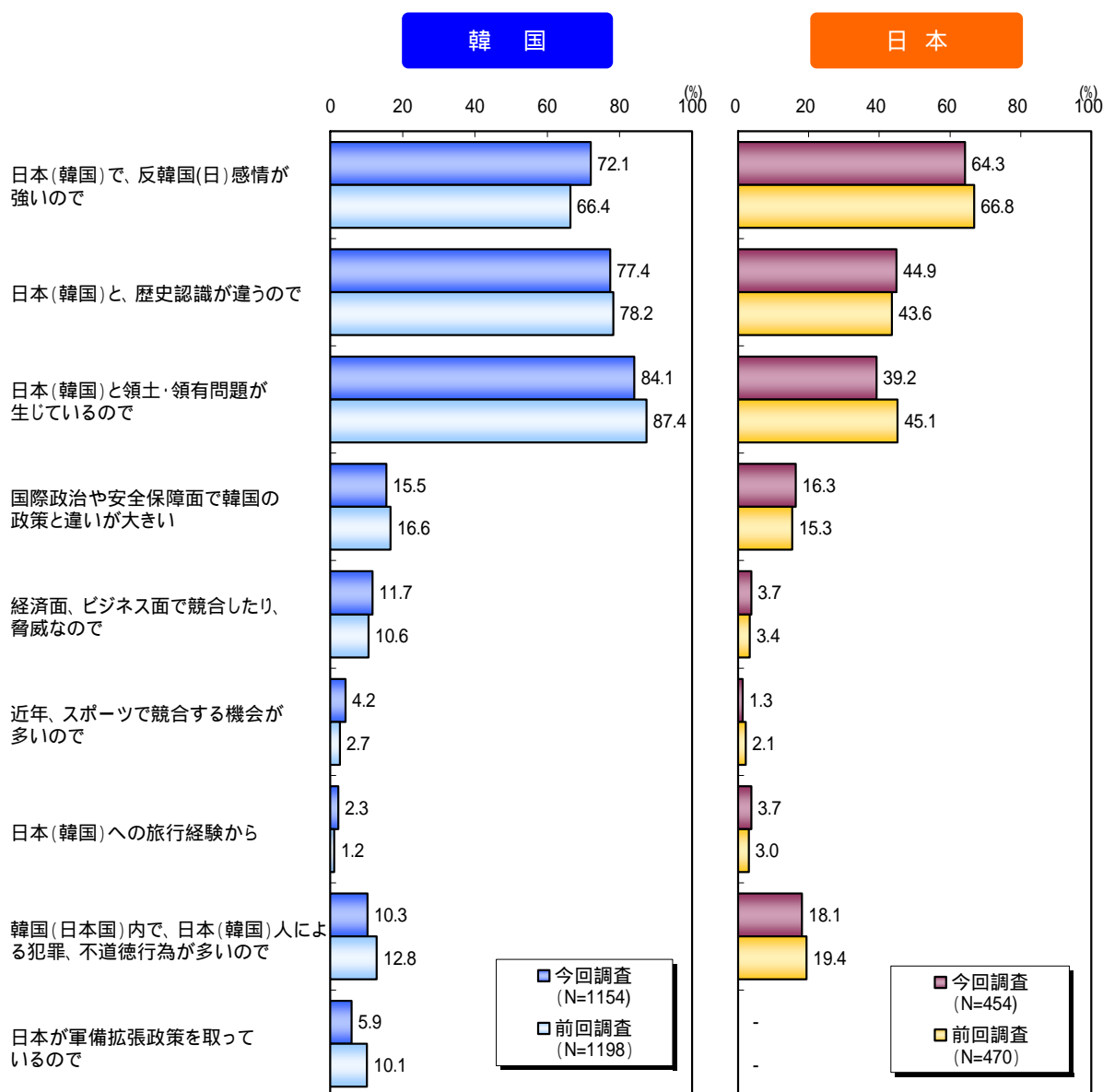
図表2 日本に親しみを感じるか - 性/年代別（韓国のみ）

	性別				年代別									
	男性		女性		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
N	(756)	(744)	(746)	(766)	(360)	(326)	(386)	(373)	(366)	(347)	(229)	(206)	(161)	(258)
親しみを感じる	1.9%	1.5	1.0	0.5	3.6	2.3	1.2	0.8	0.6	0.7	0.8	1.0	0.0	0.0
どちらかという親しみを感じる	20.6	18.7	16.2	15.2	28.8	29.5	16.5	17.1	14.1	15.2	16.6	11.1	12.0	7.8
どちらかという親しみを感じない	48.1	48.1	55.4	59.3	47.7	48.8	58.6	56.0	56.0	55.4	46.6	52.2	41.6	56.0
親しみを感じない	27.3	29.7	22.9	21.4	17.6	16.4	21.6	23.1	26.3	27.2	31.2	32.0	39.4	33.0
わからない/無回答	2.1	2.0	4.5	3.6	2.3	2.9	2.2	3.1	2.9	1.5	4.8	3.8	7.0	3.2

**韓国では、「領土・領有問題」「歴史認識の違い」が日本に親しみを感じない主な理由**

- ・日本に親しみを感じないと回答した人に、その主な理由を3つ迄聞いたところ、「領土・領有問題が生じているので」(84%)「日本と歴史認識が違うので」(77%)、「日本で反韓国感情が強いので」(72%)が、前回調査同様にトップスリーを占めている。(図表3)
- ・これに対して日本においても、韓国に親しみを感じない理由としては、「韓国で反日感情が強いので」(64%)、「韓国と歴史認識が違うので」(45%)、「韓国と領土・領有問題が生じているので」(39%)が、前回同様にトップスリーを占めている。日韓両国において、親しみを感じない主な理由として、「領土・領有問題」「歴史認識の違い」「相手国での反日(反韓)感情の存在」が挙げられているが、かつて日本の植民地下にあった韓国においては特にその傾向が強い。(図表3)

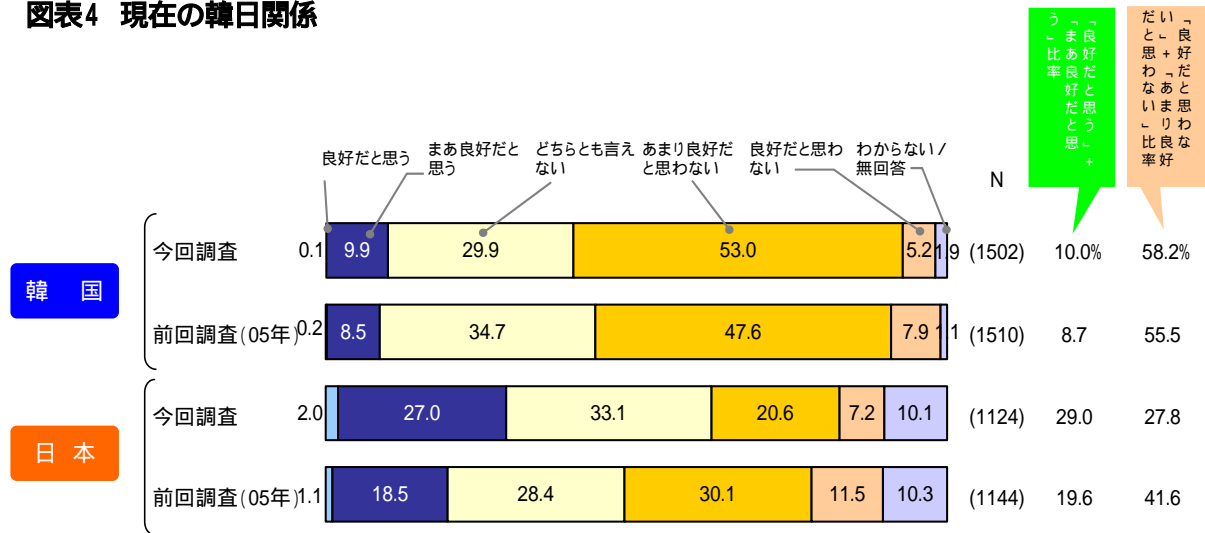
**図表3 日本(韓国)に親しみを感じない理由(3つ迄)**



韓国では、「現在の日韓関係は良好と思わない」が「良好と思う」を上回るが、日本では拮抗

- 韓国において、現在の日韓関係を良好と思わない（「良好だと思わない」+「あまり良好だと思わない」）と回答した比率は58%で過半数を占め、良好と思う（「良好だと思ふ+まあ良好だと思ふ」）と回答した比率（10%）を大きく上回っており、前回調査からほとんど変化はない。（図表4）
- これに対して日本では前回調査から変化がみられ、現在の日韓関係を良好と思わない比率は42%から28%に減少、良好と思う比率は20%から29%に増加し、両者が拮抗している。（図表4）

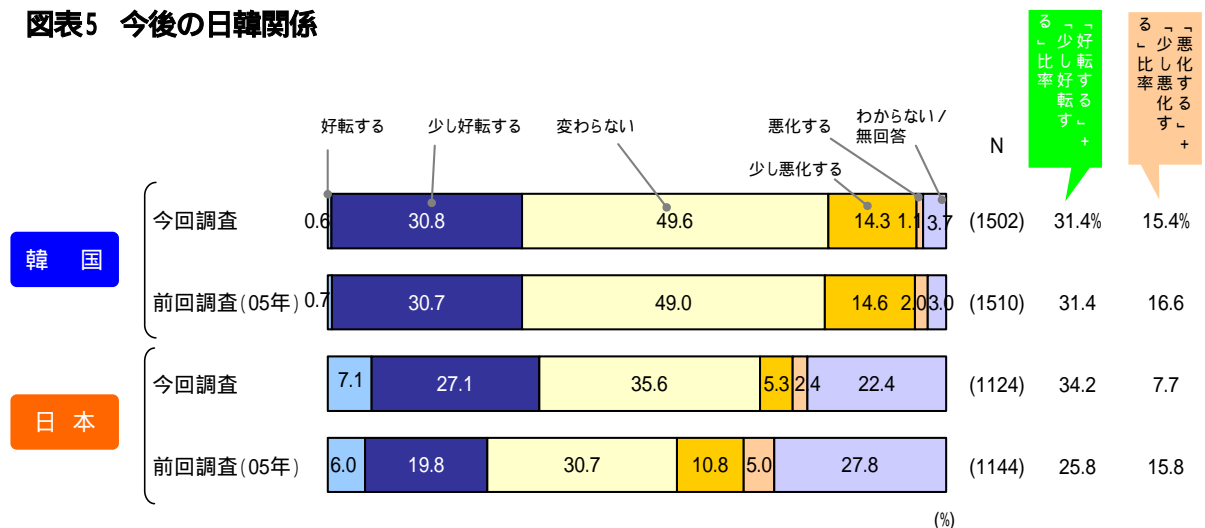
図表4 現在の韓日関係



韓国、日本とも、今後の日韓関係は「好転する」が「悪化する」を上回る

- 韓国において、今後の日韓関係が悪化する（「悪化する」+「少し悪化する」）と回答した比率は15%に対して、好転する（「好転する」+「少し好転する」）と回答した比率31%で、好転する比率が上回っている。ただし、「変わらない」が最も多く、50%（前回49%）を占めており、前回調査とほとんど変化はない。（図表5）
- これに対して日本では前回調査から変化がみられ、悪化すると回答した比率は16%から8%に減少、好転する比率は26%から34%に増加している。また、「変わらない」は31%から36%に増加。日本、韓国とも「好転する」が「悪化する」を上回っている点に注目すれば、日韓関係は改善の方向へ進んでゆくと考えられる。（図表5）

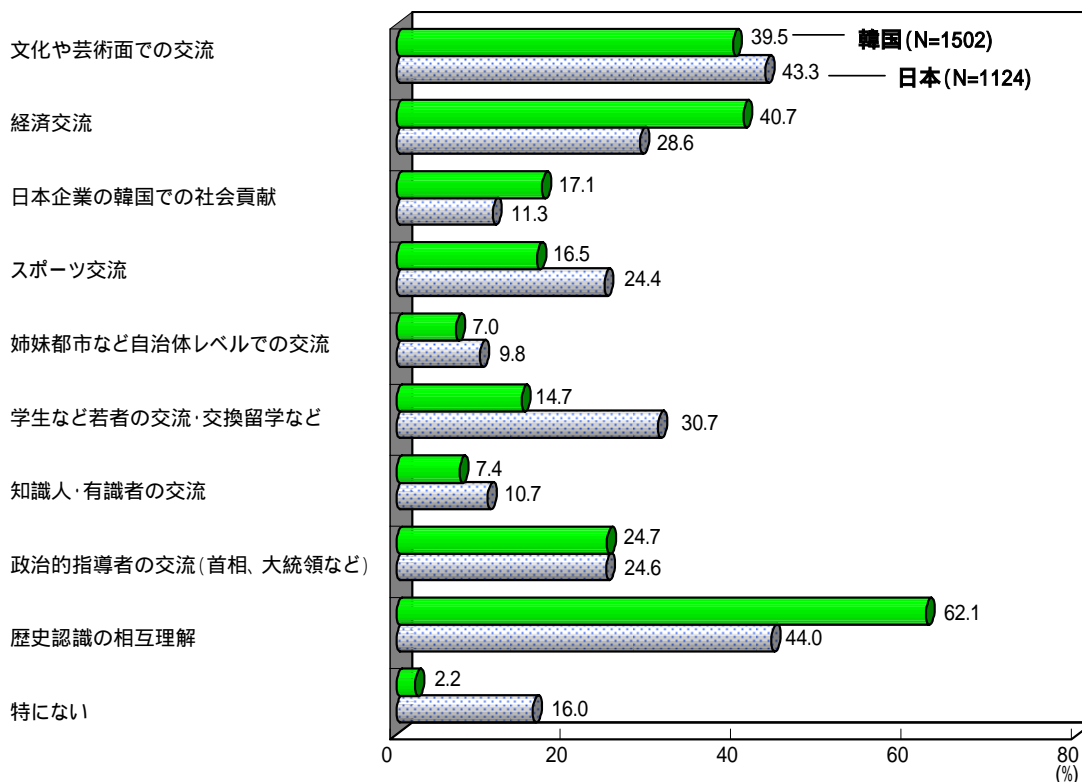
図表5 今後の日韓関係



**両国とも、日韓関係を良くするために必要なこととして「歴史認識の相互理解」がトップ**

- ・日韓関係を良くするために必要なこととしては、韓国では「歴史認識の相互理解」(62%)が断然トップ、次いで「経済交流」(41%)、「文化や芸術面での交流」(40%)、「政治的指導者の交流」(25%)となっている。年代別にみると、「歴史認識の相互理解」はどの年代でも6割前後と高い比率を占めているが、「経済交流」は40歳以上の年齢層で高く、「文化や芸術面での交流」は20代や30代の年齢層で高いといった特徴がみられる。(図表6、7)
- ・これに対して日本では、「歴史認識の相互理解」(44%)が韓国同様にトップだが、「文化や芸術面での交流」(43%)が差がなく続き、次いで「学生など若者の交流・交換留学」(31%)、「経済交流」(29%)となっている。(図表6)

**図表6 日韓関係を良くするために必要なこと(複数回答:今回調査)**



**図表7 日韓関係を良くするために必要なこと - 性別/年代別(韓国のみ)**

	性別		年代別				
	男性	女性	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
N	(756)	(746)	(360)	(386)	(366)	(229)	(161)
文化や芸術面での交流	37.0%	42.0	41.6	43.0	39.0	35.2	33.4
経済交流	40.2	41.1	37.4	39.0	42.9	42.0	45.1
日本企業の韓国での社会貢献	16.6	17.6	15.5	14.8	17.7	19.3	21.4
スポーツ交流	18.8	14.2	16.4	15.9	19.6	14.9	13.7
姉妹都市など自治体レベルでの交流	7.3	6.7	7.5	8.6	6.2	5.2	6.3
学生など若者の交流・交換留学など	15.2	14.2	16.8	19.9	10.6	13.8	8.6
知識人・有識者の交流	9.0	5.8	7.9	9.4	5.8	7.2	5.2
政治的指導者の交流(首相、大統領など)	26.7	22.6	22.3	24.6	23.3	29.1	27.1
歴史認識の相互理解	64.6	59.5	61.0	59.8	61.4	68.6	62.2
特にない	2.1	2.3	2.3	1.8	1.6	2.2	3.9

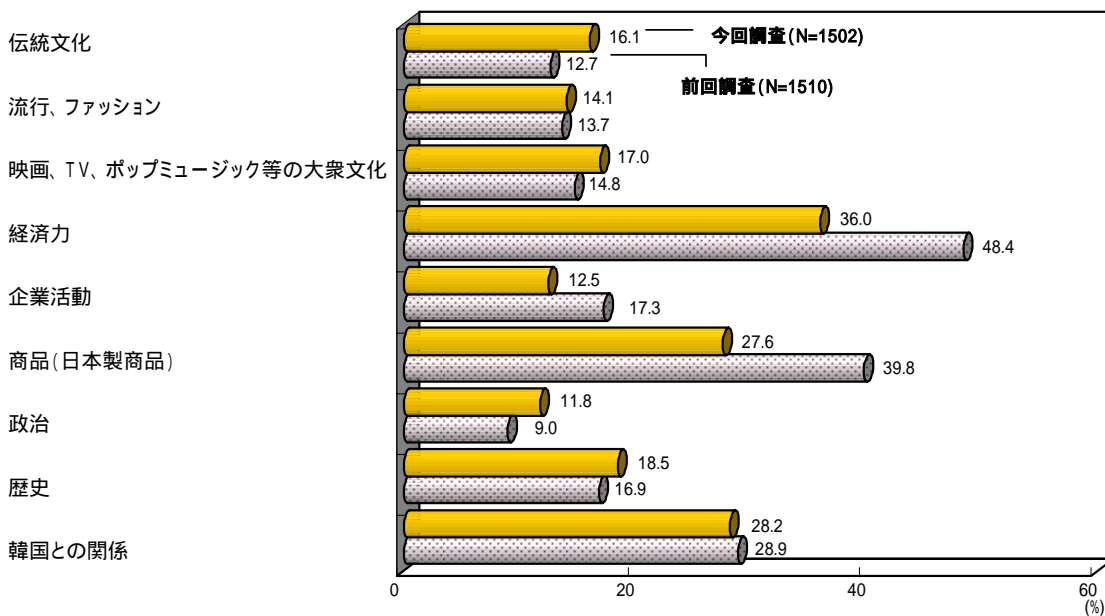
韓国では、「日本に関心あり」は全体の4割、若年層ほど関心が高い。関心分野は「経済力」がトップ

- 韓国において、日本に関心がある（「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」）と回答した比率は40%（前回43%）、関心がない（「関心がない」+「どちらかといえば関心がない」）と回答した比率は46%（前回41%）で、前回調査に比べて日本への関心がやや低下しているといえる。性別に見ると男性で、年代別に見ると30代・40代の年齢層で、日本への関心が低下している。（図表8）
- 日本に関心がある分野としては「経済力」（36%）、「韓国との関係」（28%）「日本製商品」（28%）がトップ3となっているが、前回調査に比べ「経済力」「日本製商品」の回答比率は減少している。これは、韓国経済の順調な経済成長に伴い、日本との経済力の差が縮小したことが韓国民の意識にも反映したものと考えられる。また、20代では「映画、TV、音楽等の大衆文化」（41%）、「流行、ファッション」（41%）への関心も高い。（図表9-1、9-2）

図表8 日本への関心度（韓国のみ）

	全体		性別				年代別									
			男性		女性		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
N	(1502)	(1510)	(756)	(744)	(746)	(766)	(360)	(326)	(386)	(373)	(366)	(347)	(229)	(206)	(161)	(258)
関心がある	5.0%	7.5	6.7	11.3	3.2	3.7	8.2	9.9	4.2	9.2	4.0	6.4	3.4	5.8	4.0	4.6
どちらかと言えば関心がある	34.7	35.6	36.7	40.1	32.8	31.3	51.3	46.6	37.7	38.9	26.3	39.8	28.0	25.2	19.7	19.7
どちらともいえない	14.2	16.4	13.1	14.3	15.4	18.5	12.3	15.9	15.4	16.8	14.7	14.9	15.8	19.1	12.3	16.5
どちらかと言えば、関心がない	36.5	32.6	32.0	26.6	41.0	38.4	23.1	24.3	36.7	30.7	42.4	34.0	42.5	40.8	43.6	37.4
関心がない	9.6	7.9	11.5	7.8	7.7	8.0	5.1	3.4	6.0	4.4	12.6	4.9	10.3	9.1	20.5	21.7

図表9-1 日本に関心のある分野（複数回答）



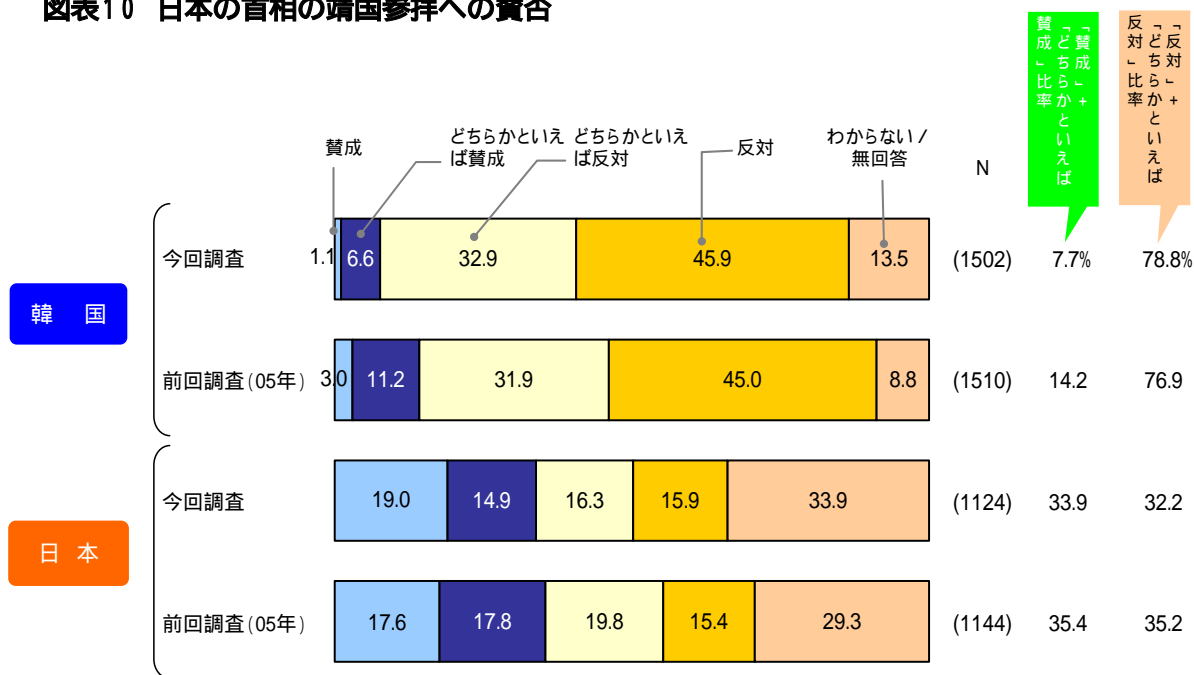
図表9-2 日本に関心のある分野(複数回答) - 性別/年代別(今回調査)

	性別		年代別				
	男性	女性	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
N	(756)	(746)	(360)	(386)	(366)	(229)	(161)
伝統文化	14.3%	17.9	17.2	15.0	15.9	14.8	18.6
流行、ファッション	12.2	15.9	37.2	11.4	6.7	2.5	1.9
映画、TV、ポップミュージック等の大衆文化	17.8	16.2	40.6	18.0	6.7	5.9	1.1
経済力	39.6	32.3	28.2	39.2	40.6	37.6	32.8
企業活動	15.4	9.6	8.6	13.6	17.5	10.0	10.9
商品(日本製商品)	24.9	30.4	29.8	32.4	26.7	26.6	14.9
政治	14.6	9.0	6.1	11.3	17.2	13.6	11.1
歴史	19.6	17.5	18.8	18.2	18.7	20.0	16.3
韓国との関係	27.1	29.4	22.0	28.0	28.2	34.9	33.4

**日本の首相の靖国参拝には韓国では8割が反対、日本では賛否が拮抗**

- ・韓国において、日本の首相の靖国参拝に反対(「反対」+「どちらかといえば反対」)と回答した比率は79%(前回77%)、賛成(「賛成」+「どちらかといえば賛成」)は8%(前回14%)、わからない・無回答が14%(前回9%)であり、前回同様に反対が圧倒的に多い。(図表10)
  - ・これに対して日本では、首相の靖国参拝に反対は32%(前回35%)、賛成が34%(前回35%)、わからない・無回答が34%(前回29%)で、前回同様に賛否が拮抗している。(図表10)
- 日本の結果を性別にみると、男女とも賛否は拮抗している。また、年代別にみると、40代と50代では反対が賛成をやや上回っているが、その他の年代では賛成が反対をやや上回っており、前回と同様な傾向を示している。(図表11)

**図表10 日本の首相の靖国参拝への賛否**



注)今回調査では「安倍首相」、前回調査では「小泉首相」と質問票には明記した。(%)

**図表11 日本の首相の靖国参拝への賛否 - 性別/年代別 (日本のみ)**

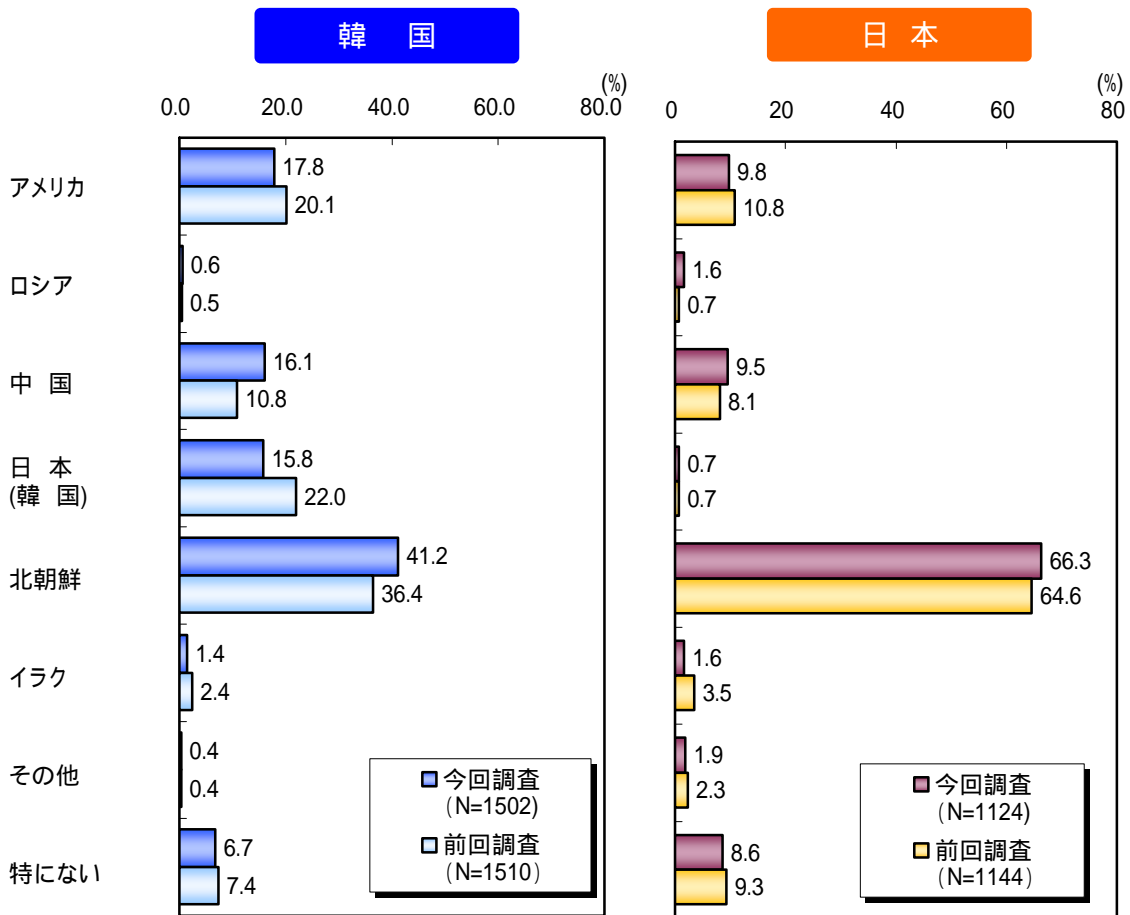
	性別				年代別											
	男性		女性		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
N	(555)	(529)	(569)	(615)	(182)	(168)	(216)	(229)	(183)	(190)	(221)	(214)	(188)	(228)	(134)	(115)
賛成	21.3%	21.9	16.7	13.8	17.0	18.5	16.2	15.7	16.9	13.2	18.1	15.4	21.8	21.5	26.1	23.5
どちらかといえば賛成	15.1	16.3	14.6	19.2	9.3	14.9	16.7	20.1	15.8	12.1	14.5	19.6	18.6	21.1	13.4	17.4
どちらかといえば反対	14.8	18.7	17.8	20.8	11.5	14.3	15.7	17.9	18.6	28.4	20.4	20.6	12.8	17.5	18.7	20.9
反対	19.3	18.1	12.7	13.0	9.3	18.5	13.0	12.7	17.5	13.2	18.6	16.4	20.2	17.1	17.2	14.8
わからない	29.4	24.8	37.8	32.7	52.2	33.9	38.4	32.8	30.6	32.6	28.1	27.6	26.1	22.8	24.6	23.5
無回答	0.2	0.2	0.5	0.5	0.5	-	0.0	0.9	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	-	0.0	-
「賛成」+「どちらかといえば賛成」比率	36.4	38.2	31.3	33.0	26.3	33.4	32.9	35.8	32.7	25.3	32.6	35.0	40.4	42.6	39.5	40.9
「反対」+「どちらかといえば反対」比率	34.1	36.8	30.5	33.8	20.8	32.8	28.7	30.6	36.1	41.6	39.0	37.0	33.0	34.6	35.9	35.7



「軍事的に脅威を感じる国」としては、両国とも北朝鮮がトップ、次いで米国、中国

- 韓国において、軍事的に脅威を感じる国として北朝鮮がトップで41%(前回36%)、次いで米国18%(前回20%)、中国16%(前回11%)、日本16%(前回22%)である。前回調査に比べて、北朝鮮や中国に軍事的脅威を感じる人々が増加し、反対に日本が減少している。日本に対して軍事的脅威を感じる比率は、男女別にみると女性で、年齢別にみると50代以上の年齢層で、特に減少している。(図表12、13)
- これに対して日本では、軍事的に脅威を感じるとして北朝鮮が断然トップで66%(前回65%)、次いで米国10%(前回11%)、中国10%(前回8%)となっており、前回調査に比べ殆ど変化はない。(図表12)

図表12 韓国(日本)にとって、軍事的に脅威を感じる国



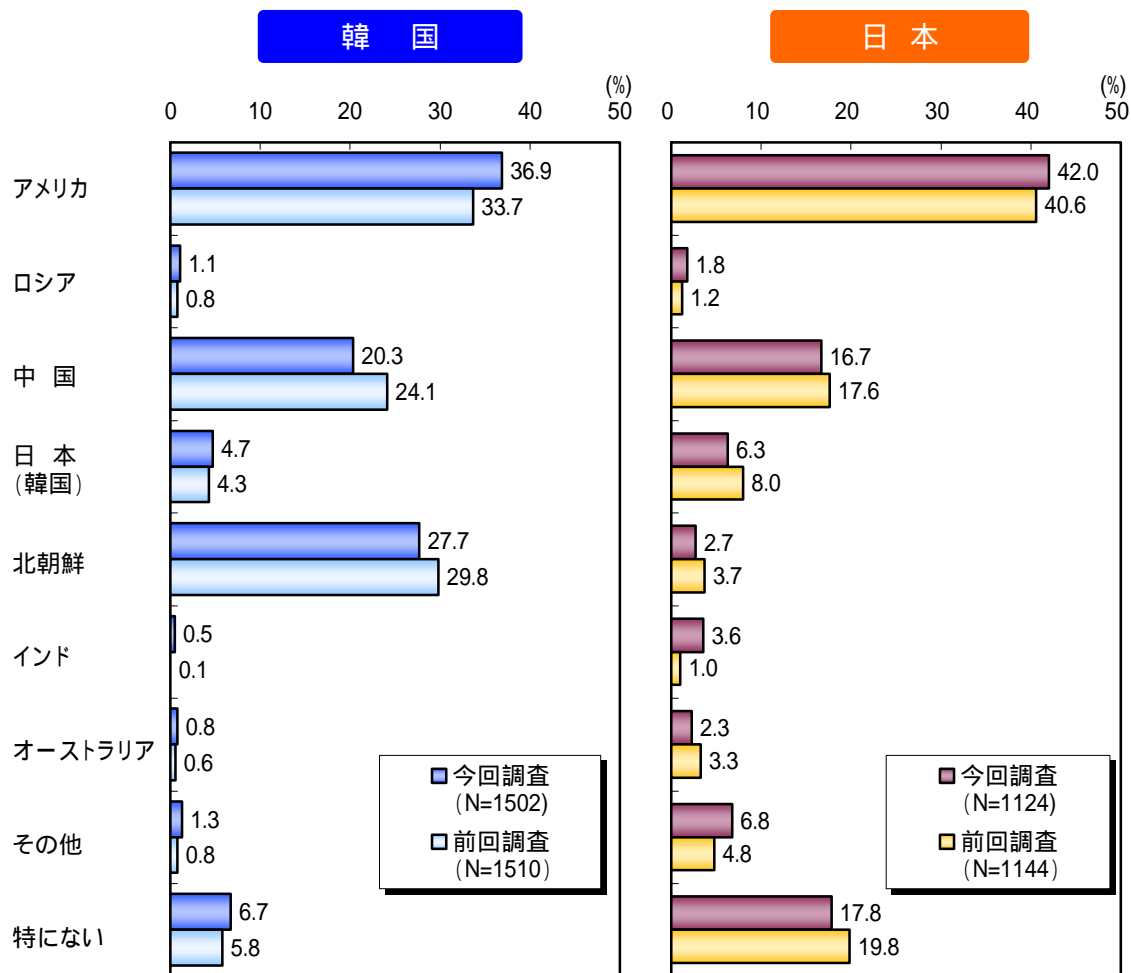
図表13 韓国にとって、軍事的に脅威を感じる国 - 性別/年代別 (韓国のみ)

	性別				年代別									
	男性		女性		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60歳以上	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
N	(756)	(744)	(746)	(766)	(360)	(326)	(386)	(373)	(366)	(347)	(229)	(206)	(161)	(258)
アメリカ	13.8%	16.6%	21.9%	23.5%	29.5%	31.4%	18.6%	24.7%	14.2%	19.1%	11.2%	11.2%	7.5%	7.5%
ロシア	0.5%	0.6%	0.8%	0.4%	0.4%	1.1%	0.4%	0.3%	1.2%	0.2%	0.8%	1.0%	0.4%	0.0%
中国	19.8%	14.6%	12.4%	7.2%	9.0%	9.9%	23.1%	10.4%	19.0%	15.1%	16.7%	10.5%	8.0%	7.2%
<b>日本</b>	<b>21.5%</b>	<b>25.7%</b>	<b>10.0%</b>	<b>18.3%</b>	<b>11.6%</b>	<b>14.9%</b>	<b>17.5%</b>	<b>23.2%</b>	<b>21.5%</b>	<b>22.3%</b>	<b>14.2%</b>	<b>29.7%</b>	<b>10.6%</b>	<b>22.4%</b>
北朝鮮	37.4%	35.2%	45.1%	37.6%	41.3%	32.9%	31.4%	31.1%	38.1%	35.6%	48.6%	36.6%	61.3%	49.7%
イラク	1.6%	1.7%	1.2%	3.1%	3.1%	2.9%	1.4%	3.5%	0.9%	2.5%	0.5%	1.4%	0.4%	1.0%
その他	0.0%	0.4%	0.6%	0.3%	0.4%	0.8%	0.0%	0.3%	0.3%	0.1%	0.5%	0.3%	0.0%	0.1%
特になし	5.4%	5.2%	8.0%	9.6%	4.7%	6.1%	7.6%	6.5%	4.8%	5.1%	7.5%	9.3%	11.8%	12.1%

韓国では、「仲良くしたらよい国」として米国がトップ、次いで北朝鮮、中国。日本は僅か5%

- 韓国において、仲良くしたらよい国のトップは米国で37%（前回34%）、次いで北朝鮮28%（前回30%）、中国20%（前回24%）が続き、日本は5%（前回4%）に過ぎない。前回調査以降、北朝鮮による核実験の強行があったにもかかわらず、韓国では依然として3割弱の人々が仲良くしたい国として北朝鮮を回答していることは注目に値する。（図表15）
- これに対して日本では、仲良くしたらよい国のトップは米国で42%（前回41%）、次いで中国17%（前回18%）、韓国6%（前回8%）、インド4%（前回1%）となっている。（図表15）

図表14 韓国(日本)にとって、仲良くしたらよい国



図表15 韓国(日本)にとって、仲良くしたらよい国 - 性別/年代別 (韓国のみ)

	性別				年代別									
	男性		女性		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60歳以上	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
N	(756)	(744)	(746)	(766)	(360)	(326)	(386)	(373)	(366)	(347)	(229)	(206)	(161)	(258)
アメリカ	33.0%	29.2	40.8	38.0	34.7	31.7	27.8	21.8	35.3	29.2	46.6	41.2	53.2	53.5
ロシア	1.8	1.2	0.4	0.5	0.4	0.0	0.8	1.7	1.9	1.2	2.0	0.9	0.6	0.0
中国	21.5	28.8	19.1	19.6	23.9	25.0	20.9	30.4	24.0	29.0	13.5	17.8	12.3	12.4
<b>日本</b>	<b>5.9</b>	<b>4.2</b>	<b>3.5</b>	<b>4.5</b>	<b>4.2</b>	<b>5.2</b>	<b>5.2</b>	<b>4.6</b>	<b>4.3</b>	<b>6.1</b>	<b>4.9</b>	<b>2.7</b>	<b>5.3</b>	<b>1.7</b>
北朝鮮	28.7	30.2	26.7	29.4	27.0	30.1	34.3	34.0	26.3	28.4	24.0	30.4	22.0	24.7
インド	0.8	0.0	0.3	0.2	0.7	0.0	0.6	0.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
オーストラリア	0.9	0.3	0.6	0.9	0.4	1.8	1.7	0.4	0.6	0.5	0.7	0.0	0.0	0.0
その他	1.4	1.2	1.1	0.3	2.5	1.8	1.5	0.4	0.5	1.3	0.6	0.0	0.0	0.0
特になし	6.0	4.9	7.5	6.6	6.2	4.4	7.2	6.3	6.2	4.3	7.7	7.0	6.6	7.7



## 第2章 北朝鮮の核保有と六カ国協議について

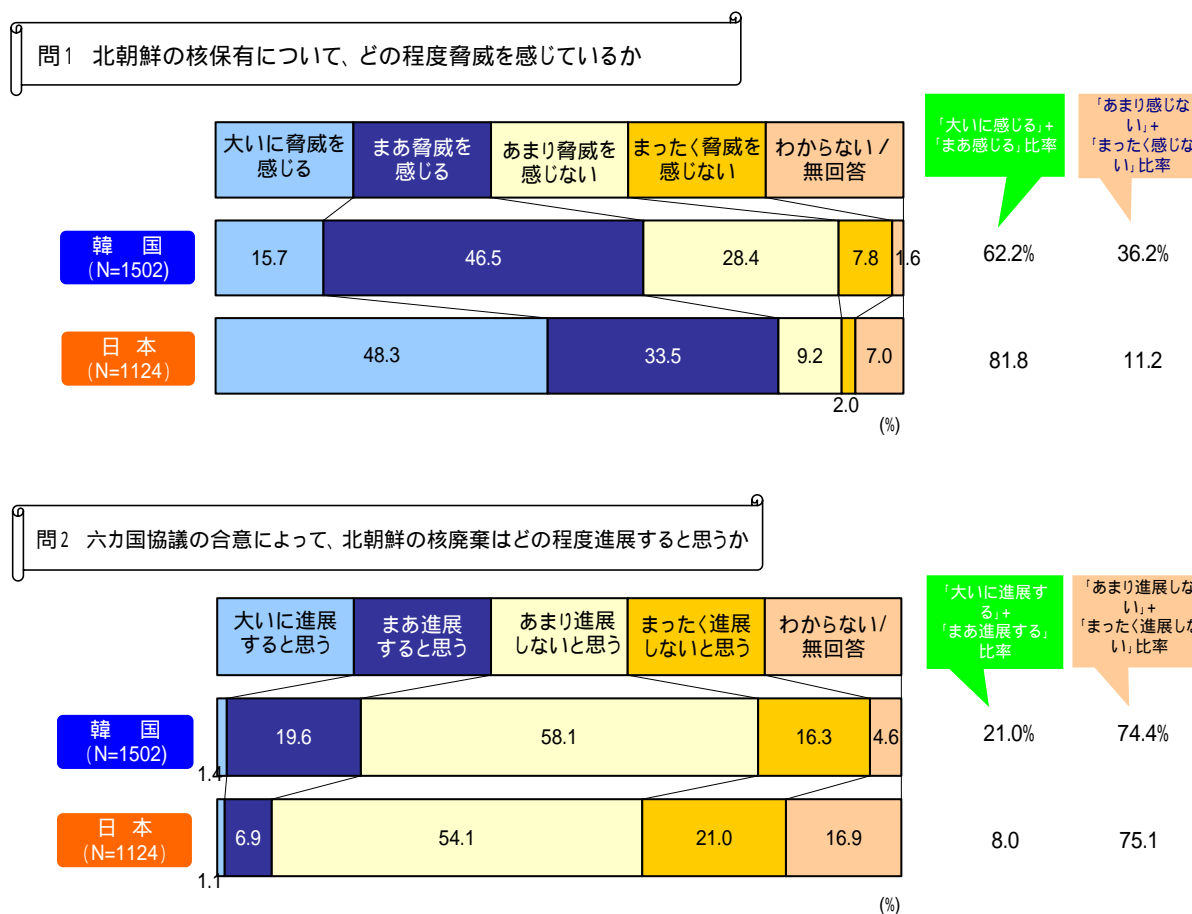
北朝鮮の核保有に脅威を感じる人は、韓国では全体の6割、日本では8割

- 最初に、北朝鮮の核保有について脅威を感じるかどうかを聞いたところ、脅威を感じる（「大いに感じる」+「まあ感じる」）と回答した人は、韓国では全体の62%、日本では82%、脅威を感じない（「あまり感じない」+「まったく感じない」）と回答した人は、韓国では36%、日本では11%を占めた。日韓両国とも、脅威を感じる比率が脅威を感じない比率を大きく上回るが、日本では特にその差が大きい。（図表16-1 問1）

北朝鮮の核廃棄が進展すると思う人は、韓国では全体の2割、日本では1割

- 次に、六カ国協議の合意によって、北朝鮮の核廃棄が進展するかどうかを聞いた。進展する（「大いに進展する」+「まあ進展する」）と回答した人は、韓国では全体の21%、日本では8%、進展しない（「あまり進展しない」+「まったく進展しない」）と回答した人は、韓国では74%、日本では75%を占めた。日韓両国とも、対象者の4人の内3人が「核廃棄は進展しない」と回答していることは注目に値する。（図表16-1 問2）

図表16-1 北朝鮮の核保有と六カ国協議について（今回調査のみ）



**北朝鮮が合意事項を実行すると思う人は、韓国では全体の2割、日本では1割未満**

- 次に、北朝鮮が六カ国協議の合意事項を実行することを信用しているかどうかを聞いた。信用する(「大いに信用している」+「まあ信用している」と回答した人は、韓国では全体の22%、日本では僅かに3%、信用していない(「あまり信用していない」+「まったく信用していない」と回答した人は、韓国では全体の74%、日本では85%に達している。この調査結果からみると、日韓両国とも、「北朝鮮は合意事項を実行しない」と思う人が圧倒的に多いことを示している。(図表16-2 問3)

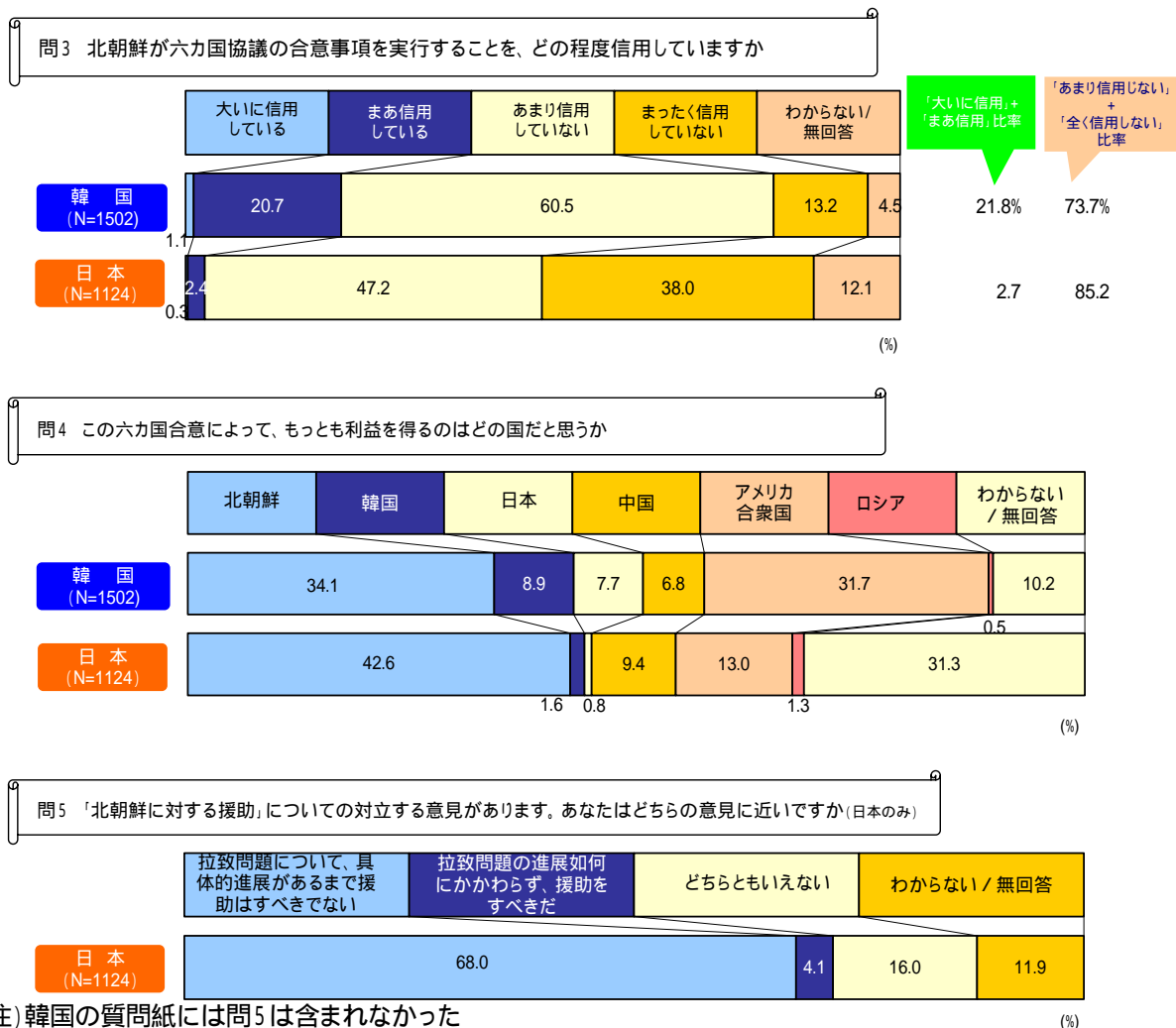
**日韓両国とも、六カ国協議の合意により最大の利益を得る国として、北朝鮮、米国を挙げる**

- 次に、六カ国協議の合意によって、最も利益を得るのはどの国と思うかを聞いた。韓国では北朝鮮(34%)、米国(32%)と回答する人が多く、次にやや離されて韓国(9%)、日本(8%)、中国(7%)の順となっている。一方、日本においても北朝鮮(43%)がトップであるが、次いで米国(13%)、中国(9%)となっており、日本と回答した人は1%に過ぎない。日韓両国とも、六カ国協議の合意で最も利益を得るのは北朝鮮、次いで米国であると認識している。(図表16-2 問4)

**日本では、「拉致問題の進展があるまで、北朝鮮に援助すべきでない」に賛成が7割**

- 日本の調査では追加質問として、「北朝鮮への援助と拉致問題」について聞いた。「拉致問題の具体的な進展があるまで、援助はすべきでない」と回答した人が68%を占め、「拉致問題の如何にかかわらず、援助すべき」(4%)を大きく上回っている。「どちらともいえない・無回答」は28%である。(図表16-2 問5)

**図表16-2 北朝鮮の核保有と六カ国協議について (今回調査のみ)**

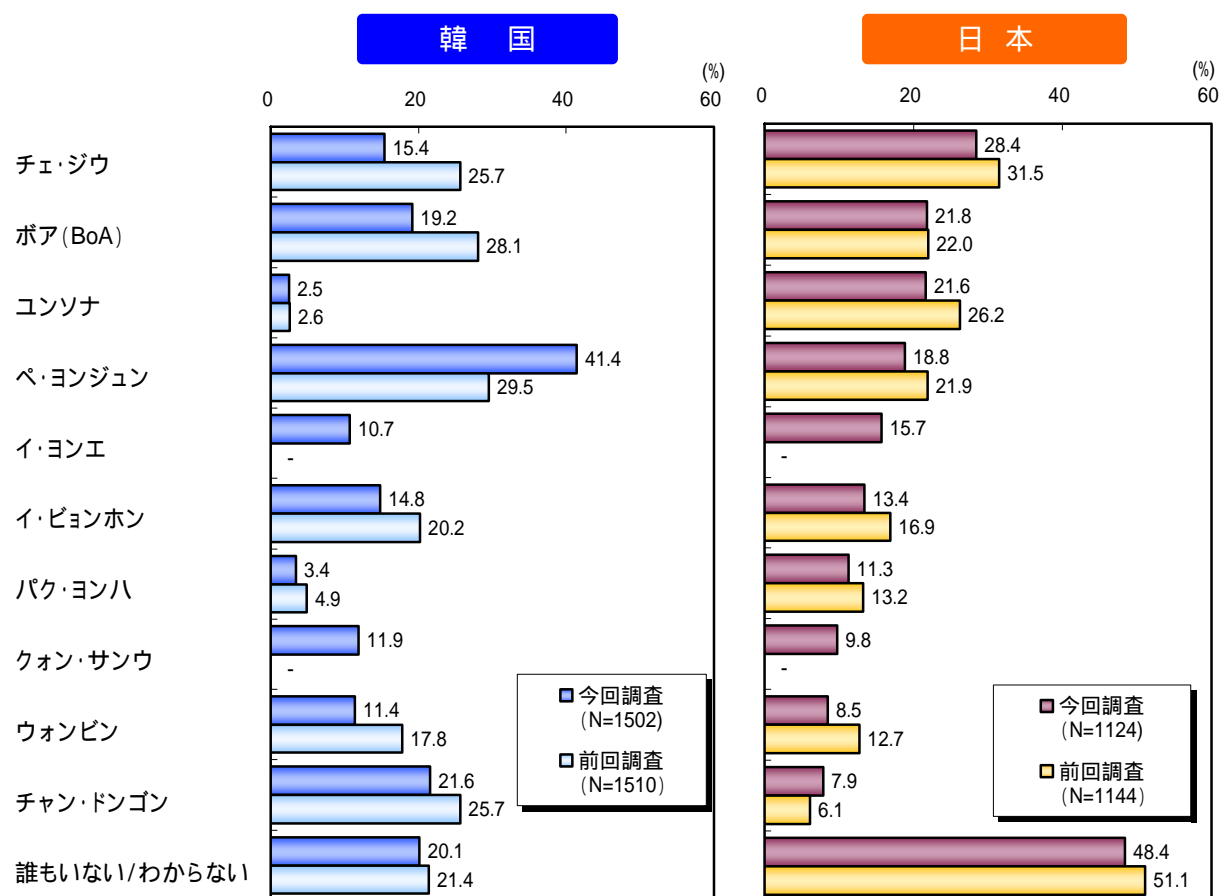


### 第3章 韓流映画・TVドラマ視聴状況、今後の旅行意向などについて

日本では、好きな韓国タレントの首位はチェ・ジウ。次いでBoA、ユンソナ、ペ・ヨンジュン

- 日本において、好きな韓国タレントを複数回答で聞いたところ、チェ・ジウが首位（28%）、次いでBoA（22%）、ユンソナ（22%）、ペ・ヨンジュン（19%）、イ・ヨンエの順となっている。前回調査に比べて、イ・ヨンエ（代表作「宮廷女官 チャングムの誓い」）の上昇が著しい。性別、年代別に見ると、チェ・ジウは男女や年代層にかかわらず、幅広い層で人気があるのに対して、BoAやユンソナは若年層や中年層で人気が高く、ペ・ヨンジュンは女性で人気が高いといった傾向は前回調査と変化ない。（図表17、18）
- 韓国では、ペ・ヨンジュンがトップ（41%）、次いでチャン・ドンゴン（22%）、BoA（19%）、チェ・ジウ（15%）、イ・ピョンホン（15%）となっている。前回調査と同じく、日本に比べペ・ヨンジュン、チャン・ドンゴンの人気が高く、反対にユンソナ（3%）の人気は低い。（図表17）

図表17 好きな韓国タレント(複数回答)



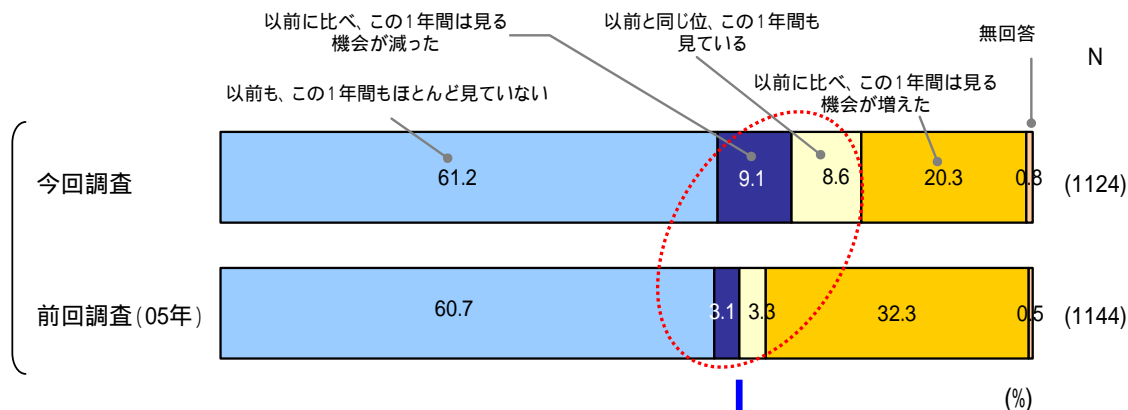
図表18 好きな韓国タレント - 性別/年代別 (日本のみ)

	性別				年代別											
	男性		女性		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
N	(555)	(529)	(569)	(615)	(182)	(168)	(216)	(229)	(183)	(190)	(221)	(214)	(188)	(228)	(134)	(115)
チェ・ジウ	20.5	25.5	36.0	36.6	30.8	35.7	31.5	34.1	29.0	39.5	32.6	36.9	22.3	19.3	20.9	20.9
ボア(BoA)	18.4	20.2	25.1	23.6	42.3	45.2	32.4	38.4	30.6	28.4	12.7	12.1	4.8	2.6	3.7	1.7
ユンソナ	17.5	24.4	25.7	27.8	32.4	31.5	26.9	38.0	27.9	32.6	21.3	29.9	10.1	10.5	6.7	8.7
ペ・ヨンジュン	10.6	15.3	26.7	27.6	14.3	19.0	19.9	18.8	17.5	26.3	23.5	30.4	16.0	16.2	20.9	20.9
イ・ヨンエ	10.6	-	20.7	-	9.9	-	12.0	-	14.2	-	25.3	-	19.1	-	11.2	-
イ・ピョンホン	6.5	9.5	20.2	23.3	14.3	16.1	13.4	19.2	14.2	18.9	16.7	23.8	11.7	10.1	8.2	10.4
パク・ヨンハ	5.0	7.2	17.4	18.4	12.1	13.1	12.0	11.8	10.9	15.3	16.7	20.1	6.4	8.8	7.5	8.7
クォン・サンウ	3.1	-	16.3	-	10.4	-	16.7	-	6.6	-	10.4	-	7.4	-	4.5	-
ウォンビン	3.4	5.3	13.5	19.0	14.8	17.3	10.6	17.5	7.1	17.4	10.0	13.1	4.8	4.4	1.5	4.3
チャン・ドンゴン	5.9	4.2	9.8	7.8	8.2	11.3	10.6	5.2	5.5	8.9	10.9	6.1	6.9	2.6	3.0	2.6
誰もいない/わからない	58.6	57.5	38.5	45.7	37.4	39.3	41.7	39.7	41.5	41.6	44.8	50.5	63.3	71.9	68.7	67.0

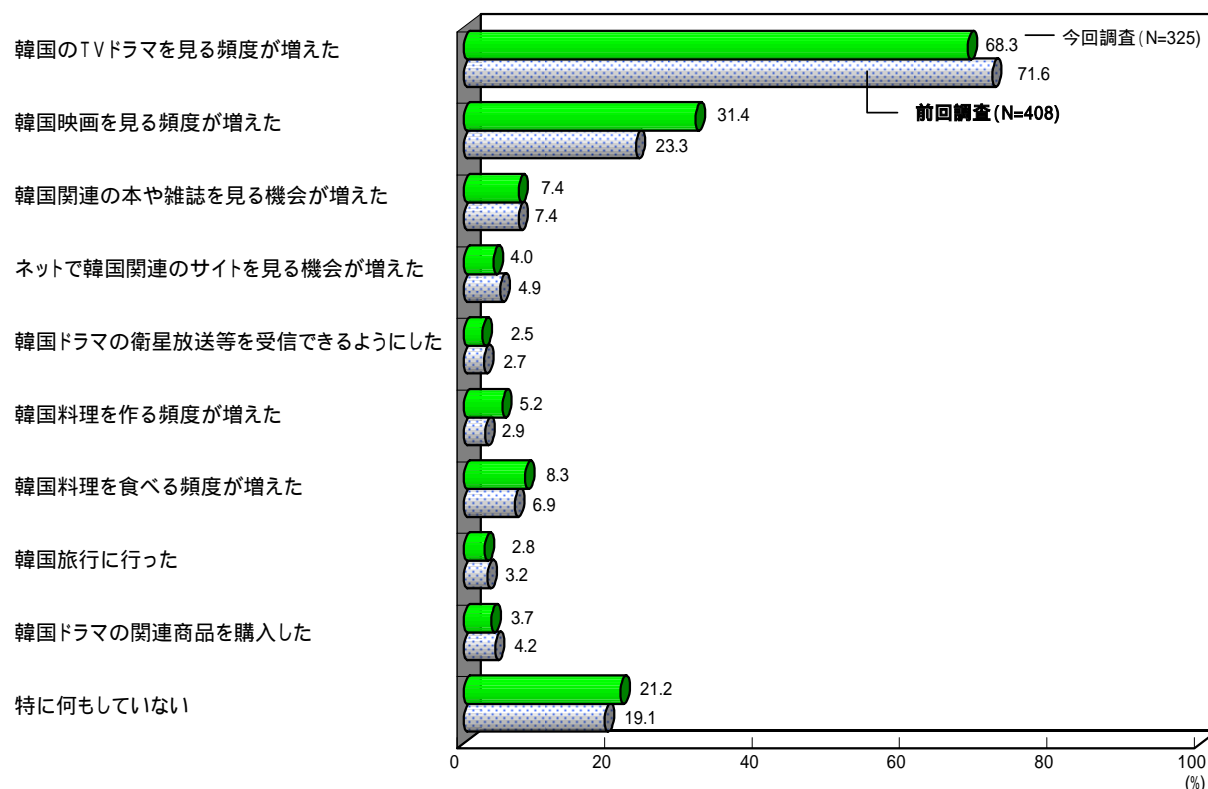
日本では、韓国映画やTVドラマへの接触状況はやや下降傾向

- 日本において、過去1年間に韓国映画やTVドラマを見る機会が増えたかどうかを聞いたところ、「見る機会が増えた」は20%（前回32%）、「以前と同じ位見ている」が9%（前回3%）、「見る機会が減った」は9%（前回3%）、「依然も、過去1年間もほとんど見ていない」は61%（前回61%）となっており、この調査結果から見る限り、一時期ほどの韓流ブームの勢いはみられない。（図表19）

図表19 過去1年間に韓国映画やテレビドラマを見る機会は増えたか(日本のみ)



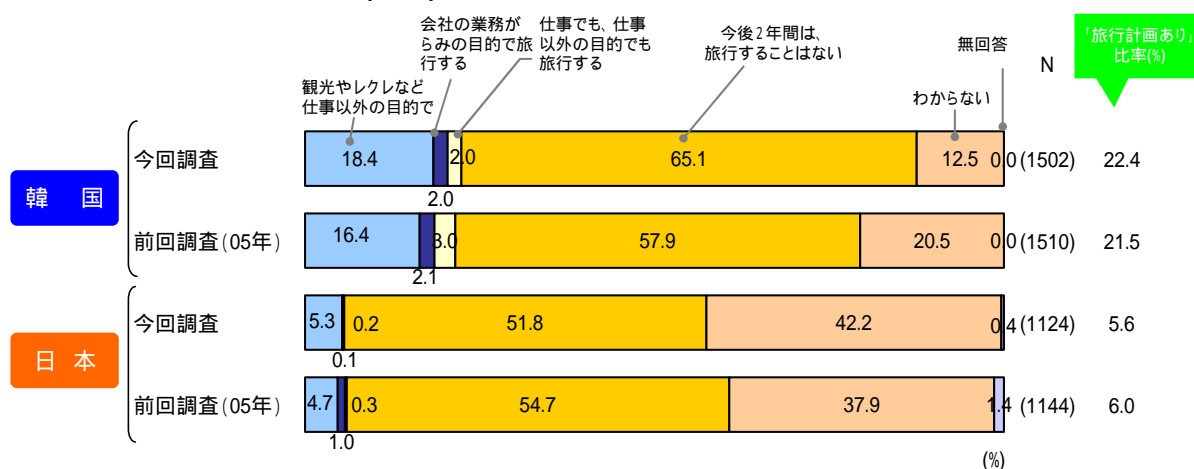
図表20 過去1年間に韓国映画やテレビドラマを見たのをきっかけにした事(複数回答)



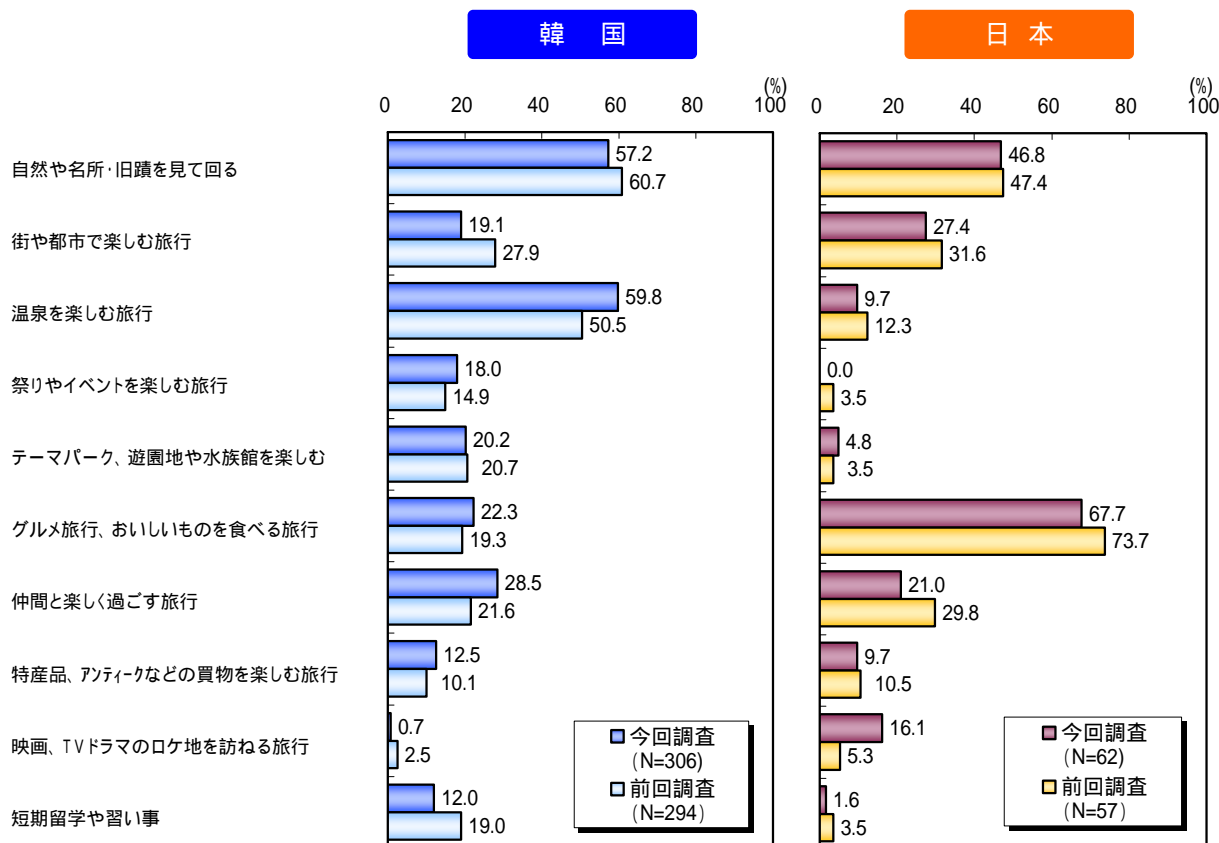
**日本への観光旅行の主な目的は「温泉を楽しむ旅行」「自然や名所・旧蹟を見てまわる観光」**

- ・日本では、今後 2 年間の韓国への旅行意向を聞いたところ、「意向あり」は僅かに 6%、「意向なし」が 52%、「わからない・無回答」が 43%となっており、前回調査とほぼ同じ結果である。
- ・「仕事以外の目的で韓国への旅行意向あり」と回答された方に旅行の目的を 3 つ迄聞いたところ、「グルメ旅行、おいしいものを食べる旅行」(68%) が断然トップ、次いで「自然や名所・旧蹟を見て回る観光旅行」(47%)、「街や都市で楽しむ旅行」(27%)、となっており、前回調査とほぼ同じ結果である。日本人観光客吸引のキーワードは依然として、「グルメ旅行、食べ歩き旅行」であると言える。(図表 21、22)
- ・韓国では、「今後 2 年間に日本への旅行意向あり」は 22%、「意向なし」は 65%、「わからない・無回答」13%となっている。前回調査と同様に、日本への旅行意向は比較的高い。
- ・仕事以外での旅行の目的を 3 つ迄聞いたところ、「温泉を楽しむ旅行」(60%) が首位、次いで「自然や名所・旧蹟を見て回る観光旅行」(57%)、「仲間と楽しく過ごす旅行」(29%)となっている。前回調査に比べ、「温泉を楽しむ旅行」や「仲間と楽しく過ごす旅行」が増加している。(図表 21、22)

**図表 21 今後 2 年間の日本(韓国)への旅行計画の有無**



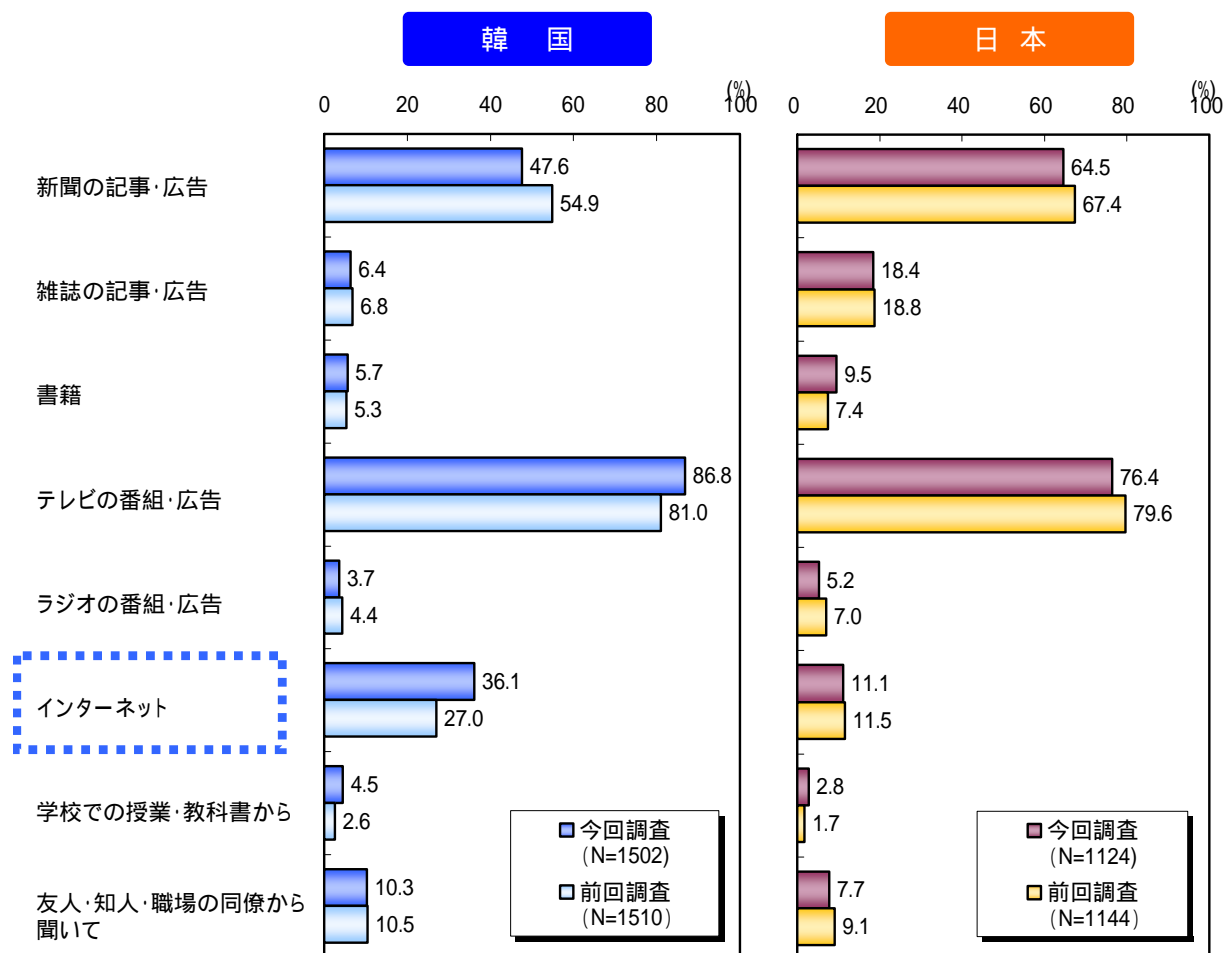
**図表 22 仕事以外での旅行目的(複数回答)**



### 韓国では日本についての主な情報入手経路はテレビ、新聞に次いでインターネット

日韓両国において、相手国やアジア諸国についての情報入手経路としては「テレビの番組・広告」「新聞の記事・広告」が上位1、2位に挙げられている。これに次いで、韓国では「インターネット」が挙げられており、特に若年層を中心に「インターネット」の役割が増大している。（図表23、24）

図表23 日本(韓国)やアジア諸国についての情報や知識の入手経路（複数回答）



図表24 日本やアジア諸国についての情報や知識の入手経路 - 性別/年代別(韓国のみ)

	性別				年代別									
	男性		女性		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60歳以上	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
N	(756)	(744)	(746)	(766)	(360)	(326)	(386)	(373)	(366)	(347)	(229)	(206)	(161)	(258)
新聞の記事・広告	53.0%	63.5	42.1	46.6	39.0	54.1	56.1	62.0	53.0	67.5	50.3	52.5	30.4	30.8
雑誌の記事・広告	6.4	8.2	6.3	5.4	12.6	13.2	6.9	7.2	3.9	5.3	3.4	5.0	1.1	1.4
書籍	6.1	5.9	5.4	4.6	11.2	7.4	7.6	6.8	2.7	4.1	2.4	3.6	0.6	3.3
テレビの番組・広告	84.3	78.6	89.3	83.4	78.7	74.5	84.0	74.7	88.3	82.5	95.3	86.0	96.2	92.2
ラジオの番組・広告	4.5	4.5	3.0	4.3	2.1	2.6	5.0	3.2	4.5	7.5	2.9	6.9	3.7	2.4
インターネット	42.1	31.9	30.0	22.3	74.3	60.5	45.6	36.0	22.6	18.5	6.1	5.0	1.2	0.7
学校での授業・教科書から	5.7	2.4	3.2	2.8	9.9	6.2	3.9	3.2	3.8	1.9	0.3	0.0	1.1	0.3
友人・知人・職場の同僚から聞いて	10.4	11.2	10.1	9.9	6.9	8.1	6.5	9.5	12.3	12.8	16.3	8.3	13.8	13.9